



カワセミハウス通信

日野市立カワセミハウス
第15号 2020年10月20日発行
(1月、4月、7月、10月発行)

イオンモール多摩平の森で 「黒川清流公園周辺の身近な自然写真展」を開催しました

8月7日(金)～13日(木)、イオンモール多摩平の森で写真展を開催しました。日野市の宝である身近な自然環境の大切さをテーマに、黒川清流公園と東豊田緑地保全地域の豊かな自然を30点以上の写真やパネル、パンフレットなどで紹介しました。湧水が潤す清流公園の池や水路、四季の森の様子、雑木林を訪れる野鳥や昆虫たち、多種多様な樹木や草花など、カワセミハウスのスタッフが撮影した写真などをおして、日野市ならではの魅力を再発見していただきました。多くの方が足を止めて写真などを見ていましたが、中でもアオダイショウの脱皮後の抜け殻の実物展示は特に目を引いたようです。



アンケートでは「子どもがアオダイショウの抜け殻に興味津々」「車いすのためなかなか現地に行けないので近くで見られてよかった」「黒川の自然の豊かさがよくわかる」「この自然を市民の力で守っていきましょう」など多くの声が寄せられました。来場者の内訳をみるとやはり日野市内の方が多く、また、9割近くの方が黒川清流公園を訪れたことがあると答えています。これからも様々な機会をとらえてこのような写真展を開催していく予定です。



第3回カワセミハウス環境パネル展開催

8月27日(木)～30日(日)、第1集会室を会場として開催されました。今回は25団体が出展、昨年より2団体増えました。パネルは全体で約30枚、出展団体はそれぞれ工夫を凝らして制作したパネルで、活動状況の報告やその団体ならではの問題提起などをしていました。パネル以外にもパンフレット、閲覧資料、バードカーピング、水車模型、キリギリスが入った虫かごなどが置かれ来場者の興味を引いていました。

来場者は約60人、中には熱心に活動報告を読んでいる方や、スマホでパネルの写真を撮られる方もいました。市内で活動するいろいろな環境活動団体について知っていただく良い機会となりました。

期間中に実施したアンケートでは「市内にこんなにたくさん環境に関する団体があることを初めて知りました」「環境に関心があってもなかなか活動できなかったがこれをきっかけに何かに参加してみようと思った」「各団体に共通のテーマがあったらもっとよいのでは」、また「キリギリスの声が大きくてびっくり」などといった声が寄せられました。



バードカーピング色々



キリギリスの虫かご



みみネットシンポジウム「ヨーロッパの水車と日本の水車」開催



画像を使って水車の仕組みを説明

9月26日(土) 13:00~17:00 カワセミハウスを会場として開催されました。シンポジウムは大坪市長の挨拶のあと、第1部の基調講演では「ヨーロッパの水車と日本の水車～用途と仕組み～」をテーマに、講師としてお迎えしたドイツやイギリスなどの水車を視察された水車研究の第一人者小坂克信氏から、イギリスと日本の水車の用途と歴史の概略、ヨーロッパ各国の水車の歴史や構造、武蔵野地方の水車の用途などのお話がありました。また、レストランやホテルとして活用されている水車や水車がテーマの博物館、コロナによる外出規制で小麦粉が売り切れ閉鎖されていた水車が復活、コロナ禍で歴史ある水車が地域社会を支えているイギリスの例などが紹介されました

第2部は、「日野市の水車の歴史」「向島用水の水車での環境学習などの活動」「用水でのマイクロ水車発電」「日野市の田んぼと用水の変遷や現状」について4名の方から話題提供がありました。最後に黒川清流公園湧水の白濁・枯渇問題について報告があり閉会となりました。40名以上の方が参加され、活発な質疑応答も行われました。



イギリス ウェールズの渓谷で今も動く水車



日野市の向島親水公園の水車

2019年度(令和元年版)日野市環境白書は12月発行の予定です

9月30日(水)に開催された日野市環境審議会にて2019年度日野市環境白書が承認されました。今後、環境審議会から出された意見が付与され12月に行われる市議会にて報告し、12月中に発行する予定です。

また、市民の皆さんを対象に1月以降に環境白書の主な指標について、その内容をわかりやすく紹介するパネル展を開催する予定です。

黒川清流公園 ひょうたん池クリーン作戦

9月18日(土)午前、黒川マイスター講座1期、2期の修了生と3期の受講生を中心に緑と清流課、カワセミハウスのスタッフなど13名で2年ぶりにひょうたん池の清掃を行いました。水を抜いた池の底には泥や落ち葉が厚く堆積していましたが、1時間ほどかけて泥をかき出したあと、池に水を入れ完了！きれいな池がよみがえりました。

実践女子大学の学生たちによる「くらし工房」が再開されました

新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響で行動を制限されている子どもたちに、新たな「第三の居場所」を作ってあげたいという実践女子大学の学生たちによる「くらし工房」が再開されました。7月終わり頃から月に数回のペースで実施しています。子どもたちが集まって、学生たちの指導のもと遊びや工作を楽しんでいます。

黒川かわせみサロンが再開されました

2月から新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止されていた黒川かわせみサロンが10月6日(火)に9か月ぶりに再開されました。33回目の開催となります。今回は定員制で約30名が参加、「せせらぎ農園」のビデオ上映や、一緒に歌を歌ったり久しぶりに楽しいひとときを過ごしました。

2020年度のオクトーバーフェストは中止になりました

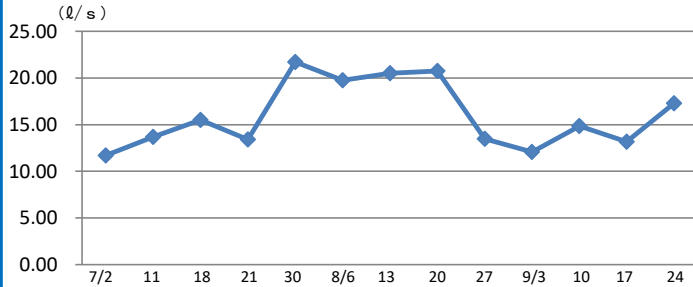
オクトーバーフェスト2020の開催について8月5日の実行委員会で話し合われ様々な意見が出ましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実行委員会としては開催を見送るとの判断に至り、今年度のオクトーバーフェストは残念ながら中止となりました。

C-plant「まるっと」が再開されました

3月から新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止されていた「まるっと」が8月から再開されました。C-plantのメンバーと遊ぶ子どもたちの元気な声もどってきました。

黒川清流公園の水路での湧水量測定結果（2020年7月～9月）

カワセミハウスでは2017年4月から毎週木曜日の朝、黒川清流公園あずまや池出口の水路で湧水量を測定しています。また、湧水量に大きな影響を与える降水量については、アメダス八王子地区降水量を参考にしています。



7月～9月の月毎の平均流量、月間推定流量、月間降水量

測定月	7月	8月	9月
平均流量(l/秒)	15.2	18.6	14.3
月間推定流量 (t)	40,706	49,912	37,182
月間降水量 (mm)	392	38	211

*7～9月の月間推定流量の合計127,750 t、降水量641mmは7～9月の合計としては測定を始めた2017年以降ではいずれも最多となりました。また、今年度の4～9月の6か月合計の推定流量、降水量も2017年以降最多となっています。雨がたくさん降ると湧水量が増えます。

みんなの環境セミナー

「黒川清流公園で昆虫採集をしよう！」7月23日(木) 9:30～11:30 開催

会場はカワセミハウス、講師は日野の自然を守る会の森川正昭氏です。9家族27名（大人13名、子ども14名）が参加しました。当日はあいにくの雨で公園での昆虫採集はできませんでしたが、室内で日野に生息する昆虫の種類や生態を動画も交えて解説しました。その後、同時開催の「日野の昆虫たち標本・写真展」を見学し、家族ごとに黒川清流公園で捕らえられたカブトムシのつがいプレゼントされ、子どもたちは大喜びでした。参加した皆さんからは「昆虫採集はできなかったけど虫のお話が面白かった」「いろいろな昆虫の写真と標本があり、大人も子どもも楽しめ、勉強になった」「GOTOキャンペーンでは遠くに行けなかったがここで楽しめた」といった声が寄せられました。



「トコロジストになろう！」7月25日(土) 10:00～16:00 開催

黒川マイスター講座の公開講座として開催、参加者は講座生6名、応募市民4名の計10名でした。講師は日本野鳥の会の会員、トコロジスト箱田敦只氏です。午後に予定していた黒川清流公園でのフィールドワークは雨で中止となり、室内の講義が中心になりましたが「場所の専門家」であるトコロジストとはどんな人なのか、トコロジストになるきっかけ、どんなことをするのか、などいろいろな事例をもとに解説されました。最後に日野市の土地利用図を作成し、「トコロジストの五カ条～1.自分のフィールドについて詳しい 2.自分のフィールドに対して誠実である 3.行政や市民と対話することができる 4.多くの協力者に囲まれている 5.他の場所では、その場所のトコロジストを尊重する～」を確認して終了しました。

カワセミハウス写真展

「日野の昆虫たち 標本・写真展」7月23日(木)・24日(金) 開催



今回は第1集會室を会場として開催しました。日野の自然を守る会の森川正昭氏提供による迫力満点の54枚の写真と、森川氏が長年にわたり作成された21の標本箱で日野の昆虫たちを紹介、今回は動画も流しながらの展示で、来場者は親子連れを中心に100人を超え盛況でした。昆虫ファンと思われる年配の方や女性など時間をかけて熱心に見ている方も多かったようです。2日間とも森川氏が立ち合い、来場者の質問に答えるなど充実した標本・写真展となりました。

「日野の魚たち」9月20日(日)～26日(土) 開催

市内の河川や用水で生息している魚たちを、水生生物研究家の鶴田大三郎氏が撮影した36枚の写真で、よく目にする魚や水環境の変化によってあまり見られなくなった魚、ハゼの仲間、エビやカニの仲間、外来魚などに分類して紹介しました。鶴田氏の特別寄稿「日野市に生息する在来魚が激減！」も掲示しました。また、今回は多摩川漁業協同組合日野支部が行なっている「魚を増やす取り組み」も紹介しました。

10月後半～2021年1月前半に開催される主なイベント、行事の予定をお知らせします

みんなの環境セミナー

●黒川清流公園の冬を探そう！

12月3日(木) 10:00～12:00 市民環境大学の公開講座として開催します。講師はカワセミハウスの小倉館長とスタッフの村岡です。冬の黒川清流公園の中を歩きながら湧水の大切さを学び、雑木林を訪れる様々な冬の野鳥たちを観察します。定員は15名先着順です。広報ひの11月15日号でお知らせします。

黒川かわせみサロン

- 第34回サロン 11月 3日(火)
- 第35回サロン 12月 1日(火)
- 第36回サロン 1月 5日(火)

毎回14時～16時開催。参加費は100円。日野市内にお住まいの高齢者の方を中心に、だれでも気軽に参加できる楽しいふれあいの場です。

C-plant まるっと

- 第17回 11月 8日(日)
- 第18回 12月13日(日)
- 第19回 1月10日(日)

中央大学を中心とする学生が運営しているボランティア団体C-plantが、子どもたちの学習支援や遊ぶこと、食べることを通して新しい地域の居場所をつくることを目指す活動です。



カワセミハウス企画展

●日野の植物たち

12月4日(金)と5日(土)の2日間、日野の自然を守る会 植物研究グループがまとめた報告書「次世代へ残したい日野市重要自然地域の植物相」から、市内で見られる植物を次世代に残していきたい希少種を中心に写真や動画で紹介。また、標本なども展示します。木の実を使った工作教室も開催します。広報ひの11月15日号でお知らせします。

環境分科会の活動

●冬の雑木林で落ち葉かき

12月5日(土) 9:00～12:00 開催。講師は雑木林ボランティア講座の講師飯島利三氏です。冬の雑木林で落ち葉かきをしながら、落ち葉の役割や暮らしにどう生かしていくかなどを考えます。定員は12名先着順。広報ひの11月15日号でお知らせします。

くらし工房

- 10月25日(日) どんぐりコマで遊ぼう
- 10月31日(土) 布川ミニフェスト

11月にも開催を予定しています。日時はカワセミハウス掲示板でお知らせします。

カワセミハウス大掃除大会

12月19日(土)、カワセミハウスの大掃除を行います。

有志の方のお手伝い大歓迎!



黒川防災会主催

防災訓練 11月22日(日) 実施

黒川子ども育成会主催イベント

餅つき大会 12月20日(日) 開催

開催予定日は今後変更される場合があります。ご了承ください。

カワセミハウス 年末年始の休館日は 12月28日(月)～2021年1月4日(月)です

《カワセミハウス施設概要》

開館時間：9：00～21：30
休館日：毎週月曜日、年末年始（月曜日が祝日の場合はその翌日）

情報発信ラウンジ：環境・地域のコミュニティの場や、散策時の休憩所としてご利用できるフリースペース

オープンキッチン：IHクッキングヒーターやオープンレンジを常備
集会室：会議等で利用できる集会室3室（各室約30名収容）
可動式パーティションを取り払い大きな部屋として使用可能
その他、授乳室、芝生広場もあります。

申請方法：使用日の属する月の3か月前の1日（各月最初の開館日）から使用当日までにハウス窓口に使用申請書を提出
*電話での仮予約も可能ですが仮予約後7日以内に窓口申請が必要です。

使用料：集会室1・2・3とも

午前(09:00～12:00)	300円
午後(13:00～17:00)	400円
夜間(18:00～21:30)	350円
全日(09:00～21:30)	1,050円

*集会室は1室ごとの料金です。

*環境市民団体や自治会等は使用料が減免になる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

*集会室以外は無料で利用できます。

発行 日野市立カワセミハウス

〒191-0052 東京都日野市東豊田3-26-1
Tel/fax：042-581-1164

Eメール：kawasemihouse@j.com.zaq.ne.jp